

寒林夜話

祖父平泉澄との対話

平泉 隆房 [著]

寒林夜話刊行委員会 [編]

平泉博士の学問、ここに蘇る

平泉澄博士から平泉隆房博士へ語り継がれた貴重な記録。十三年余に亘り雑誌『日本』に連載した四十話を一冊に纏め、索引を付して刊行。

「この『寒林夜話』は単なる随想録ではない。本書の執筆にあたって父(隆房)は曾祖父(澄)の日記・手帳・ノート・録音テープを駆使し、記憶に頼るということを極限まで遠ざけている。……互

いに実証性を重んじた祖父と孫、二人の学者の記録に基づいて書き綴られたのであり、そうであるが故に本書は史料として無量の価値をもつ。」

(平泉紀房「あとがき」より要約)



定価2,530円(10%税込)
[本体 2,300 円]

令和7年5月23日発行
A5判・上製・カバー装・282頁
ISBN978-4-7646-0156-7



詳細・ご注文

著者略歴

平泉 隆房(ひらいずみ たかふさ)

昭和二十九年(一九五四)二月十九日福井県勝山市平泉寺で誕生(父洗・母百合子の長男)。勝山高等学校を経て昭和五十一年(一九七六)皇學館大学文学部国史学科卒業、同大学院進学。同五十六年同大学神道学科助手、同六十二年国史学科講師。平成三年(一九九一)同大学国史学科助教授。同七年金沢工業大学助教授、平泉寺白山神社宮司。同十二年同大学教授。同十六年皇學館大学より博士号(文学)を授かる。神社本庁教学委員、大阪国学院講師などを歴任。令和六年(二〇二四)八月十六日帰幽(満七十歳)。

著書 『中世伊勢神宮史の研究』

吉川弘文館、平成十八年

[ご注文・お問い合わせ]

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <https://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

注文書	書店様番線	注文数	寒林夜話 祖父平泉澄との対話 平泉 隆房 [著]
		冊	定価：本体 2,300 円(税別) (ISBN978-4-7646-0156-7)
		お名前	
		〒 ご住所	お電話

凡 口 繪

一 蔵書の書き込み

井内慶次郎氏の勧め／平泉澄資料館／

『細川日記』／『泰澄和尚傳記』

二 祖父のメモ帳

西田幾多郎博士／石田茂作博士／

白山神社所蔵絵図

三 白山神社と楠木氏

泰澄大師供養塔／大楠公供養塔／浜尾新総長

四 空襲の被害

中村直勝博士／田中義成博士／曙町の書斎／

長谷部言人博士

五 見えない物を見る感性

御巫清直翁／塔尾御陵／龜山上皇

六 日光東照宮の研究

山下三次宮司／高原美忠先生

七 英雄の著『近世日本国民史』

徳富蘇峰翁／田中光顕伯

八 祖父が好んだ戦国の気風

陸軍と海軍の不仲／レイテ沖海戦／

九 ミッドウエー海戦の敗因

倉橋友二郎少佐／小田原俊彦大佐

十 文部省の企てに消極的

皇国正史編修の議／「明治は遠くなりにけり」／

佐久良東雄先生のお歌

十一 学会や神職界を見つめて

九州での学会の祖父の質問／氏子と共に神様を拝

する神主

十二 神の感得

白山教なるもの／祝詞奏上／神々の靈感

十三 兼務社および永平寺

山口誠之助翁／道元禪師と白山

十四 丹念に辞書を引く

平泉といふ地名／ある東大名菅教授の訃報／

「サザエさん」の家のお話

十五 模倣でない価値

玄成院の家／リッカート先生／鰐淵源博士／

お金で買へない遺産

十六 帝大図書館の焼失

関東大震災／石仏出現の不思議

十七 海軍技術研究所

祖父の絶筆／徳永栄中将／祖父最後の話

十八 南北朝正閏論

終戦間際の東大教授／三上参次博士／

上田萬年先生

十九 まつすくな人を評価

常盤大定博士／山腰天鏡師／佐佐木信綱博士／

團藤重光氏

二十 米軍も精神力強調

ケンプ・トリー氏／エラー海軍大尉の論文

二十一 進んで攻むるに如かず

ミッドウエー以後の戦局／ラバウル／

二十 高月龍男先生

報国といふ語

二十二 「相見文書」／「伯耆巻」／「太平記」

二十三 建武と現代の問題

大東亜戦争などの呼称／安井英二氏／

建武中興六百年祭／田中繁松氏

二十四 世論や風評に迎合せず

栗野二英雄翁／建武中興に学ぶこと／

菊池武夫男爵

二十五 菊池武時勤王の由来

武時公と大智禪師／加賀から肥後の到着時期

二十六 家訓継承の精神

禪師お手植の杉／菊池荘の古文書／

黒板・辻岡博士の鑑定眼

二十七 叔父平泉渉の話（一）

—— 楽しかった囲炉裏端の輪講 ——

二十八 叔父平泉渉の話（二）

—— 「史記」越王勾踐世家／「史記」刺客列伝（荊軻） ——

—— 研究が好きでたまらない人 ——

—— 宮崎道生氏見送り／古本屋に同行／

「職原抄」古写本／ノートの活用

二十九 祖父の回想談（二）—— 人名を覚える才覚 ——

島田の叔母さん／神武天皇聖蹟調査／

第八軍司令部召喚

三十 祖父の回想談（二）—— 祖父の血液型 ——

古畑種基教授／国史研究室／

なぜ皇室を護るのか

三十一 祖父の回想談（三）

—— 留学は同僚扱ひで歓迎 ——

—— ライプツヒのヘルマン教授／

ゲッテンゲンのガイガー教授／斎藤勇教授

三十二 祖父の回想談（四）—— 陸軍将官の間違ひ ——

信吉治男少佐／松田卷平中将／『将たるの心構』

三十三 昭和五十一年正月の講話（一）

—— 外国に行く時生まれた三男 ——

—— 叔父渉の衆院選出馬／日本の非常事態／

黒板先生の一言

三十四 昭和五十一年正月の講話（二）

—— 在英を切り上げて帰国 ——

三十五 昭和五十一年正月の講話（三）

—— 欧州留学／日本が危ない予感／満州事変起こる ——

—— 皇室や陸海軍からの信頼 ——

三十六 昭和五十一年正月の講話（四）

—— ご進講／近衛公／小畑敏四郎中将 ——

三十七 昭和五十一年正月の講話（五）

—— 陸海軍を一つにしたい ——

三十八 昭和五十一年正月の講話（六）

—— 陸軍大演習の講評／二・二六事件 ——

三十九 昭和五十一年正月の講話（七）

—— 心を一つにする ——

四十 昭和五十一年正月の講話（七）

—— 河合退蔵氏／市橋頭取／粉骨碎身 ——

—— 日本を国を立て直す ——

—— 「少年日本史」／託すべき人物／渉の人となり ——

—— 白山の神縁 ——

—— 白山の創祀千三百年／回天顕彰会での頼悼吾氏 ——

—— あとがき ——

—— 平泉紀房 ——

索引